

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ハイタッチ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 17日		～ 2025年 3月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 3月 20日		～ 2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 5月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者、児童からの満足度が高い。	子どもたちの特性等に配慮しながら楽しんで取り組める活動の立案に努めています。また、休日・長期休暇の際には普段できない活動(課外活動・体験活動等)の充実を図れるよう意識し、子どもたちの意見も取り入れながら活動立案に努めています。	職員の知識、専門性を更に高めていながら安定した支援ができるようにしていきます。 幅広い年齢の児童が在籍しているため、理解力や運動能力等に配慮しながら集団で楽しく取り組める活動の考案を今後も努めてまいります。異年齢の交流を大切に、様々な関りから社会性を養えるように支援していきます。
2	保育園や他の事業所(児童発達支援・放課後等デイサービス)との交流会を通して地域の他のこどもと活動する機会を設けている。また、就労支援体験、デイサービス(通所介護)での交流も行っている。	保育園や児童発達支援事業所での大型絵本の読み聞かせやベープサート等の披露、放課後等デイサービス事業所とのスポーツ交流会を行いました。児童発達支援事業所での読み聞かせ等に関しては全曜日で行い、多くのこどもたちに貴重な体験する場を提供できたと思っております。	保育園・児童発達支援事業所での交流は職員が主導となり、練習の成果を披露する事が中心となっていたため、今後は子どもたちの意見も重視しながらより良い交流ができるようにしていきます。 学童等との交流がまだできていないため、交流の機会を設けていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会を設ける事が出来ていない。	事業所としての家族支援プログラム等の開発が不十分であるため、研修会や情報提供の機会を設ける体制を整える事ができていないと考えています。また、外部からの講師を呼ぶという事に関しても苦慮している状況となっております。	社内外研修等を通して職員の専門的知識の向上を図りながら、事業所内の支援プログラムの開発を検討してまいります。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会を設ける事が出来ていない。	以前に懇親会等の交流の機会を設けた事がありましたが、参加希望者が少なく実施に至らず、その後も交流の機会を設ける事ができておりません。保護者のニーズ等をしっかりと把握できていなかった事も一因だと感じています。	多くの方が参加できるように参加しやすい時期(曜日等)を精査し、どのような交流を行いたいかな等のニーズの把握に努めてまいります。
3	事業所の取り組み等の保護者への周知が不十分である。	アンケート結果を踏まえて、活動や取り組みに対する周知がしっかりとできていないと感じる項目がいくつか見受けられました。日々の申し送りを行ってはおりますが、時間も限られているため、大まかな内容になってしまっている事やSNS等での発信が不十分である事が要因であると感じています。	SNSでの発信が不定期になってしまっているため、更新頻度を上げていながら活動や取り組みに関する詳細を周知できるようにしてまいります。